

## 自然環境調査報告書第 17 集にあたって

早川 直美

(トトロのふるさと基金 調査部会)

狭山丘陵でナショナル・トラスト活動が始まった頃、たくさんの方々のご協力を得て、多くの期間とパワーを費やし、1カ所の雑木林を購入しました。その後は、トトロの森が『点』である時間が長く続きました。そして、いまは、隣地を保全できる場面が増え、トトロの森が『点から面へ』とつながるようになりました。これまでのボランティアの方々の辛抱強い努力が、少しずつ目に見える形になってきたのです。

泉の森は、狭山丘陵を源とする東川の支流に隣接する平地の雑木林です。2017年にトトロの森44号地を取得、54号地、55号地、そして2022年に59号地を取得し、泉の森を面として保全できる方向が見えました。丘陵地とは違うトトロの森を、調査部会のメンバーで意見を出し合い、ボランティアの視点でできるだけ多角的に調査し、ここに報告書をまとめることができました。まだまだ、学ぶべきところが多いと思いますが、楽しく活動が続けられるように、みなさまからのご支援ご鞭撻とご協力をお願いいたします。

この報告書は、狭山丘陵を大切にしたいという想いやボランティアの気づきを表せる場であると考えます。今回も、初めて調査に参加する方、初めて報告書を書く方、いろいろな方にいろいろな立場で関わっていただきました。そこにある『狭山丘陵が大好き』という気持ちを、受け止めていただければ幸いです。これからも、投稿規程を参考に、多くの方から楽しい記録を寄せていただければと思います。

トトロの森は、狭山丘陵としてとらえれば、まだまだ点です。これからも、たくさんの方の協力を得て、ボランティアの力を継続したいと考えています。

### 謝辞

トトロのふるさと基金の調査活動において、ところざわ地域の自然グループとグリーンフォレストネットワーク所沢の共同代表である大堀氏にご支援・ご協力をいただきました。この場を借りて深く感謝申し上げます。